

元気企業！紹介

金型の微細加工技術で 医療分野に貢献

ニッタモールド株式会社

取締役社長 茂呂 拓実 さん

ニッタモールドは、プラスチック製品の「金型設計」「射出成形」「組立」などを一貫してこなし、他事業体と連携しながら製品開発を行うなど、活躍がめざましい。現会長の茂呂孝男さんが27年前に会社をおこし、雑貨品から始めてOA機器部品、自動車部品などのプラスチック製品を開発・生産してきた。特に、近年は産学官の「医療開発プロジェクト」に参加し、100分の2mmの精度が求められる「検査用試薬のカートリッジ」の試作に成功するなど高度な技術を誇る。今では医療関係のプラスチック製品が年間総売り上げの6割を占めているという。

世の中の役に立つ 企業であり続けたい

— 設立の経緯を教えてください

会長の茂呂 孝男が長年、医療機器メーカーで金型設計に携わって来ましたが、今から27年前(当時42歳)に起業してみたいと言う気持ちに駆り立てられ、独立しました。

退職金で製図用道具のドラフターを1台購入し、自宅横の倉庫でフィギュアなどの雑貨の金型を設計する仕事からスタートしました。1年後には産業支援プラザさんのお世話で思い切って工場を建て、プラスチックの射出成形機を導入しました。

— 色々、ご苦労があったと思いますか…

私は次男で、現在、タイニッタモールド(Nitta M&T)のCEOと日本本社の社長(COO)を兼務していますが、今日に至るまでの苦労話は、会長と長男の常務から聞いています。

一番のピンチは、25年前に会長が

大病を患い、余命3ヶ月と言われたことでした。長男は大学を中退し、片腕となって会社を支えました。私も学生でしたが、時間をつくり手助けをしました。

会長の立てた10年計画を達成すべく、家族みんなでガムシャラにがんばっていたら、仕事も徐々にできるようになり、不思議なことに会長の病氣もすっきり影を潜めてしまいました。

その頃、会長は友人から勧められた「近江商人の三方よし」の本を読んでいく感動し、それ以来、「相手よし、自分よし、世間よし…三方の役に立てば結果はでる」を当社の商売のコンセプトとして、私たちがもかかつけて今でも指導を受けています。

そして、この本の教えが新しいことへのチャレンジに駆り立てたようで、病を患ったこともあり、医療分野に貢献する仕事に取り組みました。

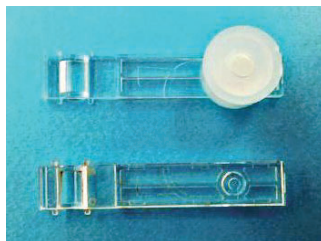
力を入れたのは「医療関係の用具の生産」ですが、今では事業の柱に育ち、様々な医療機関で使っている。だいています。

医療用器具の 部品開発に成功！

— 産学官の 医療開発プロジェクトについて お話しいただけますか？

2013年から3年間、産業支援プラザの「産学官連携によるプロジェクト構築支援」によって医療用器具の開発に関わるようになり、「※しが医工連携ものづくりネットワーク」に参加しました。

具体的には医療機器大手や大学などと連携し、「血液一滴で高度な健康診断ができるデスクトップ型の血液



※しが医工連携ものづくりネットワークの産学官連携によるプロジェクトで開発した試薬カートリッジの試作
100分の2mmの微細加工が施されている

ニッタモールド株式会社

分析装置」の開発に取り組みました。多くの健康項目の分析が一滴の血液で、素早く、安く出来る「コンパクトな装置」は国内ではもちろん、アジアでは特に需要があります。

当社の受け持ちは「検査用のプラスチック試薬カートリッジの開発」でしたが、血液が流れる血流路は100分の2mmの細さという難しいもので、その金型製作は高度な微細加工技術を必要とするものでした。

しかし、常務(長男)は、話を聞いた瞬間「おもしろい！挑戦してみよう！」と切り出し、1ヵ月後には試作品を作り上げてしまいました。

好奇心旺盛な性格は父親譲りで、今でも医療メーカーの医療用器具の開発に取り組みで、昨年はカテーテル部品で通算14種類のお手伝いをさせていただきました。



本社工場のLSR成型機
液状素材を熱硬化させて成型する

ピンチをチャンスに…

— タイにも進出されているとか？

7年前に「NITTA M&T」という名前でタイに進出しました。

これも産業支援プラザさんに相談に乗っていただき、1年目から順調に操業できました。

ところが翌年、タイで大洪水が発生して多くの工場が浸水被害に見舞われました。幸い、当社には被害がありませんでしたので、少しでもお取引のある会社の力になりたいと考え、工場の一部を提供して使ってもらいました。

こうしたことが契機となり、周囲の

方々とのお付き合いが増え、タイでの射出成形機が2台から40台に増えて、今では家電製品部品、OA機器の部品、自動車部品など、幅広く生産しています。

タイ人を中心に150人の社員を指導していますので、会長は1年のうち半年はタイでの生活ですが、私は常駐しており、仕事の報告や指示はskypeやLINEで行っています。

最近では会長には、問題が起らないように現場の巡回をお願いしています。



タイの成型工場を巡回する茂呂会長

従業員全員が人格を磨き、 信頼される人間に！

— これからの目標は？

医療用具の金型製作と、製品成形の実績を活かし、50%は従来の金型製作と成形加工でお客様に貢献し、そして50%はメディカル部品を医療機器メーカー様と共同開発する『研究開発型ベンチャー企業』としてやっていきたいと思っています。

また、「納品業者の皆さん」や「内職さん」をはじめ、会社を支えてくださっている方々に感謝しつつ、社員全員が人格を磨き、信頼される人間に成長していくことを目指しています。

甲賀市は「くすりのまち」と呼ばれ、薬品や医療部品の工場が多いことで知られていますが、この町で仕事をさせていただいていることに感謝し、お客様とともに知恵を出しながら世の中のお役に立てるよう、精進していきたいと思っています。

Data



ニッタモールド株式会社

- ▶ 代表者 / 取締役社長 茂呂 拓実
- ▶ 従業員数 / 55名
- ▶ 住所 / 〒520-3306 滋賀県甲賀市甲南町柑子2002-19
- ▶ 創業 / 1990年
- ▶ 業務内容 / プラスチックの射出成形、金型加工、金型設計、製品設計
- ▶ TEL / 0748-86-8615
- ▶ URL / <http://www.nittamold.com/index.php>

※しが医工連携 ものづくりネットワーク

医療機器開発に係るニーズとシーズのマッチングや公的資金の獲得、法的規制、治験、マーケティングなどのあらゆる相談に対して、コーディネータが医療機関、公的機関等と連携しながら対応し、事業化を支援します。医療機器開発に役立つ講演会やセミナー、医療機器の展示会への共同出展、各種補助金等の最新情報のメルマガ配信、産学官連携によるプロジェクト構築などを行っています。現在の会員機関数は206で、入会は無料です。

問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ
連携推進部 医工連携課
担当/上田・中島

☎ 077-511-1414
☎ 077-511-1418
✉ swf@shigaplaza.or.jp